

介護人材実態調査（従事者用）

問1 あなたが本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、定期巡回・隨時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）、訪問看護、訪問リハ）
 2. 小規模多機能型居宅介護
 3. 看護小規模多機能型居宅介護
 4. 施設・居住系サービス（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、短期入所生活介護・療養介護、グループホーム、特定施設入居者生活介護、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム・ケアハウス）
 5. 通所系サービス（通所介護（地域密着型含む）、通所リハ、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））
 6. 居宅介護支援
- 問2. 3へ
問6へ

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つに○）

1. 介護福祉士（認定介護福祉士含む）
2. 介護福祉士実務者研修修了、（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級
3. 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級
4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態 (1つに○)	1. 常勤職員 2. 非常勤職員
2) 性別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性 3. その他 4. 答えたくない
3) 年齢 (数値を記入)	[] 歳
4) 過去1週間の勤務時間 (数値を記入) ※ 問1で回答した勤務先における時間	[] 時間 ※残業時間を含む。休憩時間は除く。
5) 現在の事業所での勤務年数 (1つに○)	1. 1年以上 ⇒ 問6へ 2. 1年未満 ⇒ 問4へ

問4 問3の5)で「2.1年未満」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、ご回答ください。（1つに○）

1. 現在の職場が初めての勤務先
2. 介護以外の職場
3. 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、短期入所生活介護・療養介護、グループホーム、特定施設入居者生活介護
4. 訪問介護、訪問入浴、定期巡回・隨時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）、訪問看護、訪問リハ）
5. 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護
6. 通所介護（地域密着型含む）、通所リハ、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業）
7. 住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅（特定施設以外）
8. その他の介護サービス

問5 問4で「3」～「8」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、ご回答ください。

1) 場所 (1つに○)	1. 現在の事業所と、 <u>同一の市区町村内</u> 2. 現在の事業所と、 <u>別の市区町村内</u>
2) 法人 (1つに○)	1. 現在の事業所と、 <u>同一の法人・グループ</u> 2. 現在の事業所と、 <u>別の法人・グループ</u>

ここからは全ての介護従事者の方が対象です。

問6 あなたが従事している仕事について、お伺いします。

問6－1 あなたの職種をお答えください。(1つに○)

1. 訪問介護員
2. サービス提供責任者
3. 介護職員
4. 看護職員
5. 生活相談員

6. 介護支援専門員
7. 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・機能訓練指導員

8. その他 ()

問6－2 あなたの職種の従業員の過不足状況は次のどれにあたりますか。(1つに○)

1. 適当だと思う
2. 不足していると思う
3. 過剰だと思う
4. わからない

問7 介護人材の早期離職の防止や定着促進について、お伺いします。

問7-1 あなたは介護人材の早期離職の防止や定着促進を図るためにどのような方策があればいいと思いますか。(あてはまる主なもの3つまでに○)

1. 残業を少なくする、有給休暇を取りやすくする等の労働条件の改善に取り組む
2. 本人の希望に応じた勤務体制にする等の労働条件の改善に取り組む
3. 賃金水準を上げる
4. 能力や仕事ぶりを評価し、待遇に反映する
5. キャリアに応じた給与体系を整備する
6. 社内研修、外部研修等の能力開発の機会を充実させる
7. 不満や悩みなどの相談窓口を設ける

8. 職場内のコミュニケーションの円滑化を図る
9. 経営者側と従業員側とが経営方針等について共有できる機会を設ける
10. 福利厚生が充実し、職場内の交流を深める取組をする
11. 子育て支援を充実させる
12. 資格取得への支援制度を充実させる
13. 介護ロボットやICT等の導入による働きやすい職場づくりに取り組む
14. その他（ ）

問7－2　問7－1で○をつけた中であなたが最も効果があると思う方策を一つ選んでその番号を記入してください。

最も効果があると思う方策の番号	
-----------------	--

問8　あなたは介護人材不足に対し、行政(国、県、市)からどのような支援があればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 資格取得等のキャリアアップへの支援
2. 介護業界のイメージアップや就職促進の取組
3. 外国籍介護人材の受入れ支援
4. 従業員研修メニューの充実（資質の向上）
5. ロボット等の介護機器の導入支援
6. 求職者と事業所のマッチング支援
7. 中・長期的な人材不足解消のために、若年層への啓発
8. 特にない
9. その他（ ）

問9 あなたは外国籍労働者の方と一緒に働くことについてどのように思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1	業務の見直しができる	7	コミュニケーションがとりにくい
2	職場に活気ができる	8	利用者等との意思疎通において不安がある
3	利用者が喜ぶ	9	できる仕事に限りがある（介護記録、電話等）
4	一緒に働くことで業務が分担できる	10	事業所のルールが理解できているか不安
5	労働力の確保ができる	11	生活、習慣等の違いに戸惑いがある
6	特に気になることはない	12	その他（ ）

問10 職場研修について、お伺いします。

問10-1 あなたの職場が実施している研修・資格取得支援について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 研修の企画・実施のための体制が整備されている
2. 外部機関に研修実施が委託されている
3. 外部研修への参加費・受講料の補助を受けられる
4. 研修のすべてを当該事業所内で実施されている
5. 特に行っていない
6. その他（ ）

問10-2 あなたが職場の社外研修・講習会を受講するにあたって、課題となっていることは何ですか(あてはまる主なもの3つまで○)

1. 人員不足のため参加することに周囲に気兼ねがある
2. 職場から参加費・受講料の補助がない
3. 研修・講習会の実施会場が遠い
4. 資格を取得してもすぐに処遇に反映されない
5. 特に課題はない
6. その他（ ）

問10-3 あなたが職場研修で必要と思うテーマは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事故防止について
2. 虐待・身体拘束防止について
3. メンタルケアやアンガーマネジメントについて
4. きめ細やかな対応がより必要となる利用者への理解・関わり方について
5. 介護技術のスキルアップについて
6. 災害時の対応、感染症対策及びBCPの作成方法について
7. 新任職員・若手職員の交流を含めた介護従事者としての基礎について
8. 外国籍人材の受入体制の整備について
9. 効果的な広報・PRについて
10. 従業員採用・定着に向けた取組について
11. 介護ロボット・ICTの導入について
12. 活用可能な助成金・補助金制度について
13. 経営マネジメント手法について
14. 人員基準、加算要件について
15. その他()

問10-4 問10-3で○をつけた中で最も効果があると思う内容を一つ選んでください。

最も効果があると思う研修内容の番号	
-------------------	--

問11 介護現場の人材育成について、お伺いします。

問11-1 あなたの職場では人材育成のためにどのような取組が行われていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 教育・研修計画が立てられている
2. 教育・研修の担当者（担当部署）が配属されている又は決められている
3. 採用時の教育・研修が充実している
4. 先輩従業員が後輩従業員の育成をしている
5. 能力の向上が認められれば配置や処遇に反映されている
6. 自治体や業界団体が主催する教育・研修には積極的に参加できる
7. 資格取得や研修の経費の金銭的な支援が行われている（介護福祉士、実務者研修等の受講費用の補助等）

8. 資格取得や研修に対して休暇取得の勧奨やシフト調整等が行われている
9. 資格取得や研修に関する活動が職務扱い（出張扱い）となっている
10. 地域の同業他社と協力、ノウハウを共有して育成に取り組まれている
11. 特に取組はしていない
12. その他（ ）

問 11-2 問 11-1 で○をつけた中であなたにとって最も効果があると思う取組を一つ選んでください。

最も効果があると思う取組の番号	
-----------------	--

問 11-3 問 11-1 で○をつけた中であなたにとってあまり効果がないと思う取組を一つ選んでください。

あまり効果がないと思う取組の番号	
------------------	--

問 12 利用者や家族からの過度な要望・クレーム・ハラスメントへの対応について、お伺いします。

問 12-1 利用者やそのご家族からの過度な要望やクレーム、ハラスメントへの対応に関して、課題を感じていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 非常に感じている ⇒問 12-2 へ
2. やや感じている ⇒問 12-2 へ
3. あまり感じていない ⇒問 12-3 へ
4. 全く感じていない ⇒問 12-3 へ

問 12-2 利用者やそのご家族からの過度な要望やクレーム、ハラスメントへの対応に関して、どのような課題を感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 事例の判断基準が不明確
2. 適切な対応方法がわからない
3. 職員の精神的負担が大きい
4. 事業所内での対応体制整備の難しさ
5. 証拠収集や記録の難しさ
6. その他（ ）

問 12－3 問 12－1 の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。過度な要望やクレーム、ハラスメントへの対応について、奈良市にどのような支援を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談窓口の設置・充実
2. 対応スキル向上のための研修
3. 他事業所との情報交換機会の提供
4. 利用者・家族への理解啓発活動
5. その他（ ）

問 13 介護職員等による利用者への不適切ケア事例への対応について、お伺いします。

問 13－1 介護職員等による利用者への不適切ケアが疑われる事例への対応に関して、どのような課題を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 事例の判断基準が不明確
2. 適切な対応方法がわからない
3. 事業所内での対応体制整備の難しさ
4. 行政や専門機関への相談・通報のハードルが高い
5. 証拠収集や記録の難しさ
6. 再発防止策の策定・実施の難しさ
7. その他（ ）

問 13－2 介護職員等による利用者への不適切ケア事例への対応について、奈良市にどのような支援を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 対応に関する研修・ガイドラインの提供
2. 職員向けのメンタルヘルス支援
3. 行政からの積極的な情報提供
4. その他（ ）

問14 ICTについて、お伺いします。

問14-1 あなたが勤務する職場ではICTを利用して業務を行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------------|---------|
| 1. 既に導入している | ⇒問14-2へ |
| 2. 導入を計画している | ⇒問14-2へ |
| 3. 関心はあるが導入に向けて特に動いていない | ⇒問14-4へ |
| 4. 導入は考えていない | ⇒問14-4へ |
| 5. わからない | ⇒問14-4へ |

※ICTとは
情報通信技術。利用者情報の一元管理や
モバイル端末等の活用により、業務の
効率化や多職種間の情報連携を図るもの

問14-2 導入した(導入を計画している)ICTは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護(支援)ソフト・システム
2. 電子カルテ
3. 雇用管理ソフト・システム
4. 事業者間情報共有システム
5. パソコン等による利用者情報の一元管理
6. タブレット端末・モバイル端末
7. テレビ会議システム
8. その他()

問14-3 ICTを導入してよかつたことや効果があつたことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 業務の効率化・時間短縮につながった
2. サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながった
3. 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された
4. 多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた
5. その他()

問 14-4 問 14-1 の回答内容・回答有無に関わらず、すべての方にお伺いします。

ICT の導入・活用にあたって課題があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 経費・費用負担の増加
2. 費用対効果が不明確
3. 従業員の習得・習熟に時間がかかる
4. 事故・トラブル等への対応
5. 維持管理が困難
6. 作業負担の増加
7. インターネット環境の整備が困難
8. ICT の導入・活用によって、そもそも何が解決できるかわからない
9. 特になし
10. その他（ ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。